

学術シンポジウム

地域包括ケアのゆくえ

～多職種連携の意義と課題Ⅲ～

令和2年1月17日厚生労働省「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備について」において地域共生社会を「制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会」としています。

子ども、しょうがい者、高齢者、すべての人々が排除されることなく地域で自分らしく生活するソーシャルインクルージョンの具現化のために多職種・多機関連携の意義と課題を議論し、求められる連携のあり方を模索することを目的に学術シンポジウム「多職種連携の意義と課題Ⅲ」～地域包括ケアのゆくえ～を企画しました。

シンポジスト紹介

【ファシリテーター】 南九州大学人間発達学部 教授 ソーシャルワーカー 若宮 邦彦



社会福祉法人 都城市社会福祉協議会
多機関協働センター すくらむ

相談支援包括化推進員

竹山 多恵子 氏



社会福祉法人 博愛会
障害者支援施設 みどり園

施設入所支援課 係長

藤木 美香 氏



都城市 祝吉・沖水地区
地域包括支援センター

認知症地域支援推進員

渡辺 夏美 氏

参加費
無料

R4. 11/12 土

日時 14:00～17:00

会場 南九州大学 都城キャンパス 3号館3201教室

定員 150名程度



参加お申込みは裏面へ

南九州大学 特別公開講座 地域包括ケア 学術シンポジウム

参加申込書

下記お申込みフォームに必要事項をご記入のうえ、FAXにてお送りください。

人間発達学部 子ども教育学科 若宮邦彦 宛
FAX 0986-46-1051

◆お申込みフォーム

フリガナ 会社名・団体名・グループ名	
フリガナ お名前	
フリガナ お名前	
フリガナ お名前	
フリガナ お名前	
代表者 連絡先 ()	参加人数 計 人

※ご提供いただいた個人情報は、管理運営のみに使用いたします。